

欠点－改善点（課題－対策）列挙法

欠点－改善点（課題－対策）列挙法は、テーマの欠点・課題を思いつくままに挙げて整理した上で、改善点・対策を1つずつ考えていく方法です。「ここが良くない」「これが課題である」とダメ出しをしてから、「改善する余地はあるのか」「解決するためにはどうすればよいか」といった対策を具体的に考えていくために、具体的・現実的・建設的・実践的な意見やアイデアが多く出ます。

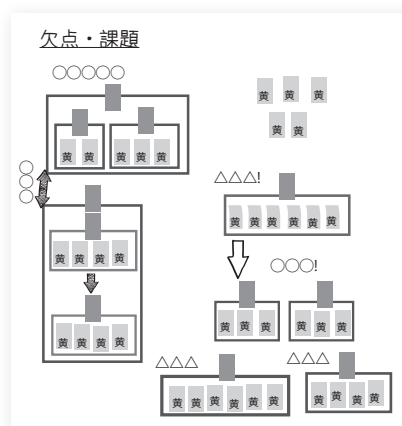
◆欠点－改善点（課題－対策）列挙法の進め方

(1) テーマを決める

- ・人でも、会社・組織でも、地域でも、物や商品でも、サービスでも何でもかまいません。ダメ出しができるもの、さらに良くしたいもの、将来の伸びしろがあるものをテーマにしてください。

(2) 個人作業・集団作業1：テーマについての欠点・課題を明らかにする（図1）

- ・ブレインストーミングによる親和図法・連関図法の手法を使い、テーマの欠点・課題を明らかにします。ブレインストーミング、親和図法、連関図法については、別の配布資料「ブレインストーミングによる親和図法・連関図法」を参照してください。
- ・まずは個人作業で、テーマの欠点・課題を黄色のフセんに書きます。どんなに小さな思いつきの欠点・課題でもかまいません。なるべくたくさん出してください。
- ・その後、集団作業で模造紙に貼りながら共有して、ピンクフセンやマジックを使って親和図法・連関図法でまとめます。模造紙はできれば縦長にを使って、欠点・課題だけで1枚の模造紙にまとめます。

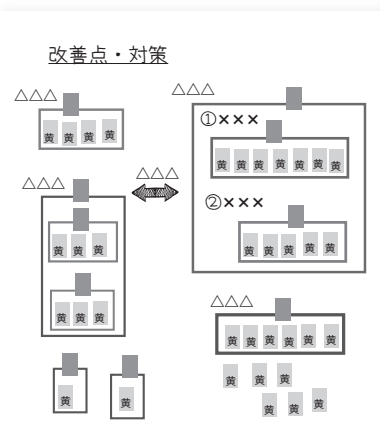


(※下線部の単語は模造紙に記載する)
(黄：黄色フセン、無記：ピンクフセン)

図1 「欠点・課題」の模造紙

(3) 個人作業・集団作業2：テーマについての改善点・対策を明らかにする（図2）

- ・(2)の作業でまとめた欠点・課題（ピンクフセンレベルの内容）(図1)に対して、改善点・対策を考えます。こちらもブレインストーミングによる親和図法・連関図法の手法を使います。
- ・まずは個人作業で、挙げられた欠点・課題について、改善点・対策を黄色のフセんに書きます。どんなに小さな思いつきの改善点・対策でもかまいません。改善点・対策を書



(※下線部の単語は模造紙に記載する)
(黄：黄色フセン、無記：ピンクフセン)

図2 「改善点・対策」の模造紙

く時には、(2) の作業で作成した欠点・課題のまとめ (図 1) を、みんなから見えるところに置いて作業してください。

- ・その後、集団作業で模造紙に貼りながら共有して、ピンクフセンやマジックを使って親和図法・連関図法でまとめます。模造紙はできれば縦長に使う、改善点・対策だけで 1 枚の模造紙にまとめます。
- ・集団作業でまとめる時には、欠点・課題と改善点・対策の対応関係は特に意識しなくて大丈夫です。テーマ全体についての改善点・対策というかたちでまとめてください。

(4) 集団作業 3：まとめられた欠点・課題と改善点・対策との対応関係を考える (図 3)

(2) と (3) で作成した 2 枚の模造紙をテープ等でつなげて、欠点・課題のまとめと、改善点・対策のまとめを見比べながら、矢印でつないだり、マジックで書き込みながら、対応関係を考えます。

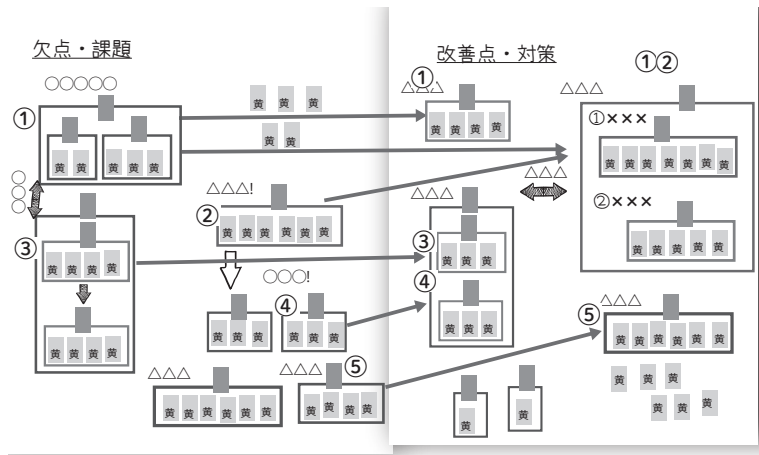


図 3 欠点・課題と改善点・対策の対応関係をつけたもの

- ・図 3 のようにすべての要素を無理に対応させる必要はありません。図に書き込むだけでなく、新たな模造紙に水性マジックで文章・図表などでまとめてもかまいません。

(5) 集団作業 4：「欠点・課題」と「改善点・対策」をまとめて行動計画・改善計画を提案する

- ・「欠点・課題」と「改善点・対策」の対応関係を検討したり、それぞれの改善点・対策の実現性や優先順位を評価したりしながら、最終的な行動計画・改善計画を考えます。時間があれば、新たな模造紙に、「行動計画・改善計画」などとタイトルを書いて、箇条書きなどでまとめてもらってもかまいません。
- ・なお、図 4 のようなワークシートを用いても手軽に行えます。①テーマ、②目標・理想の姿を決めた後、③課題、④対策について、四角の中にアイデア・意見を書いていき、最後は、③と④で対応するものについて点と点を結ぶ (1 対多、多対多もあり) という方法です。特に 1 人で行う時などに活用してください。

課題一対策列挙法 班 _____ 氏名 _____

①テーマ _____ について考えよう

②目標・理想の姿 _____

③課題	④対策

図 4 (参考) 課題一対策列挙法ワークシート